

瀬戸内海では、古くから舟を使った海上交通がさかんでしたが、本州四国連絡橋の開通によって、移動時間が大幅に短縮。

本州と四国を結ぶ橋の  
総称。 3つのルートあり

鉄道や高速道路による

通勤 通学 する人が  
増加しました。

### 橋の開通による島での生活の変化

島民の日常的な移動手段

( フェリー ) → ( 自動車 ) に変化しました。

時間を気にせず移動が可能に。

これまでの移動手段だったフェリーの利用者は減少し、  
航路の廃止や減便した。

→ 自動車をもたない高齢者などが不便になるも

### 交通網の発達による他地域との結び付きの変化

交通網の発達は、他地域との結び付きにも影響します。

広島県 尾道市

「しまなみ海道」

愛媛県 今治市

徒歩や自転車もOK。 → ( 観光 ) 業が発達する。

徳島県

「大鳴門橋」「明石海峡大橋」

神戸

大阪

近畿地方と結び付きが強くなった。